

JICA 開発大学院連携プログラム（各大学におけるプログラム）概要

| | | |
|--------------------|---|---|
| 大学名 | 秋田大学 | |
| 研究科名 | 国際資源学研究科 | |
| 研究科の特色 | https://www.akita-u.ac.jp/shigen/index.html | |
| プログラム概要 | 秋田大学国際資源学研究科は、持続的社会的な実現のため資源地球科学分野および資源開発環境学分野に関する高度な知識と専門性に裏付けられた最先端の教育・研究を進め、地球科学から資源開発、環境保全に至る広範な知識を習得し、グローバルリーダーとして活躍できる人材の養成を目指す。 | |
| 「日本の開発経験に関する講義」の概要 | <p>「日本の資源探査」 担当教員：資源地球科学専攻教員</p> <p>本授業では日本の資源探査について、その歴史と現状を学ぶ。国内での石油・天然ガスおよび金属鉱物資源の探鉱の歴史やその背景を学ぶとともに、海外（特に発展途上国）において日本の企業、政府機関、大学等が近年実施している地質構造調査や探鉱の事例、現状、学術的背景、当該国との協力関係や支援について理解する。</p> <p>「資源管理学特論」 担当教員：縄田 浩志教授</p> <p>本授業は、文化人類学、社会生態学、地域研究のアプローチを用いて、とくに在来知識の応用と参加型開発に焦点をあてつつ、現場／地方／国家の各レベルにおける統合的な資源管理に向けた課題を多角的に分析できる能力を獲得することを目的とする。</p> | |
| 関連 URL | シラバス： https://gsw.cis.akita-u.ac.jp/portal/slsskgr.do | |
| プログラムの魅力紹介 | <p>受験者へのメッセージ： Malgazhdar Daniyar さん (資源国の行政・研究人材育成, 2020 年入学)</p> <p>本プログラムで提供される「資源管理学特論」の授業では、歴史と現代の両方の観点から持続可能な資源管理と政策の概念を学びます。この科目では、持続可能な開発の目標を達成するために世界各国が実施する様々な戦略に関する知識を得ることができます。</p> <p>履修者は各国の資源管理政策決定に至る詳細な分析を行い、各事例について政策形成が求められる背景、政策の実施及び結果について議論します。この授業に参加することで、グローバルレベルと国レベルの両方で資源管理分野における知識を広げることができました。この授業で最も興味深かったのは、先進国と発展途上国における様々な事例研究でした。これは、これまで自分が持っていた資源管理に関する認識に影響を与えてくれました。また、将来自身の業務においても役立つと考えています。</p> |  |

